

サラリーマン世帯の主婦 1,000 名に聞く「2011年夏のボーナスと家計の実態調査」

ボーナス平均手取金額は2年連続増の67.6万円、満足度は「66点」。**使い道は「預貯金」から“消費”へ！夫の小遣いも3年ぶり10万円台を回復！****一方、約6割が家計“苦しい”、半数が見通し“厳しい”、理由は“教育費”“給料減”****節約は「電気ガス水道」が昨夏6位→2位に急上昇！東西日本で温度差(東1位、西4位)****主婦の“へそくり”平均額336.6万円に減少(昨夏比27.9万円減)、でも見通しは明るい!?**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)では、全国の20~50代の、サラリーマン世帯の主婦1,000名(各年代毎250名 平均年齢39.7歳)を対象に、「2011年夏のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2011年6月10日(金)~15日(水)に実施いたしました。

ボーナス平均手取額は、昨夏から0.6万円増の67.6万円で2009年から2年連続の増加となり、使い道も「預貯金」(74.2%→68.7%)が減り、「国内旅行(帰省含)」(25.8%→29.7%)などが増加しています。さらに、夫の小遣いも3年ぶりに10万円台を回復するなど、ボーナスを消費に回す動きが見られます。一方で、子供の教育費の負担や収入減の不安などにより、家計が「苦しい」(57.1%)、今後の家計の見通しは「厳しい」(49.4%)と判断するなど、リーマンショック後初の夏調査である2009年(「苦しい」61.6%/「厳しい」50.0%)に匹敵する高い数値となりました。厳しさが増す家計の中、節約する機会が増えたのは「電気・ガス・水道料金の節約」で、昨夏の6位(30.7%)から2位(52.1%)に急上昇しました。また、「電気・ガス・水道料金の節約」に東日本大震災が影響しているとの回答は74.4%に上っています。なお、節約に関しては《東日本》「電気・ガス・水道料金の節約」、《西日本》「食費の節約」がトップとなるなど、東西地域における差が見られました。

夫に内緒の資産(へそくり)所持平均額は、昨夏より27.9万円減の336.6万円と減少しました。しかしながら、へそくりの今後の見通しは明るく、「増える」(37.1%)が「減る+なくなる」(19.5%)を大きく上回りました。

ボーナス手取額の増加が続き、消費に回り始めた一方で、家計の現状や今後に関しては悲観的な判断をしています。家計をあずかる主婦の財布の紐は、景気よりも「教育費の負担」や「収入減」など、より生活に近い不安の解消にかかっているようです。

第22回損保ジャパンDIY生命アンケート「2011年夏のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は、以下となります。

《「2011年夏のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》

<2011年夏のボーナス>

- 夏のボーナス「増えた」は33.7%、「減った」は25.9%。平均手取額は67.6万円(昨夏比0.6万円増)
- ボーナスの使い道トップは「預貯金」(68.7%)も昨夏比減。「国内・海外旅行」や「子供の教育費」は増加。
- ボーナスから夫に渡した小遣い、「渡した人」の平均額《東日本》11.4万円、《西日本》9.0万円。「0円(渡さない)」は、《東日本》49.0%、《西日本》45.9%と東西日本で差異。
- 今夏、臨時ボーナスをあげたい人トップ「石川遼」。「江頭2:50」など震災の復興支援に係わった人もランクイン。
- 主婦が詠む夏のボーナス川柳「ボーナスを たくさん使って 復興へ」など、思いはさまざま。

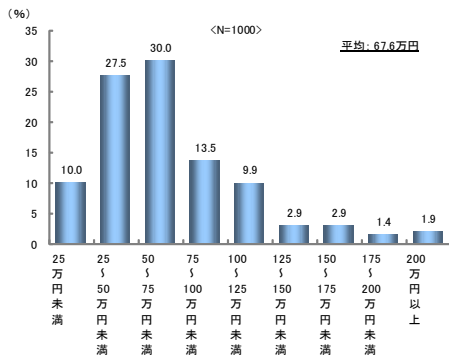
<家計の現状/わが家の生活防衛策>

- 家計“苦しい”(55.8%→57.1%)、今後の見通し“厳しくなる”(40.8%→49.4%)と悲観的な判断増える。
- 以前に比べ節約機会が“増えた”項目トップ3は、「外食費」、「電気・ガス・水道料金」、「衣服費」。
- 東日本大震災の影響で以前より増えた節約項目トップは、「電気・ガス・水道料金」、「交通費」。
- 夫に内緒の資産(へそくり)所持平均額は、336.6万円(所持率44.7%)。最高金額は5,500万円。
- へそくりの「今後の見通し」“増える”(37.1%)は、ボーナスの「今後の見通し」“増える”(31.3%)を上回る。

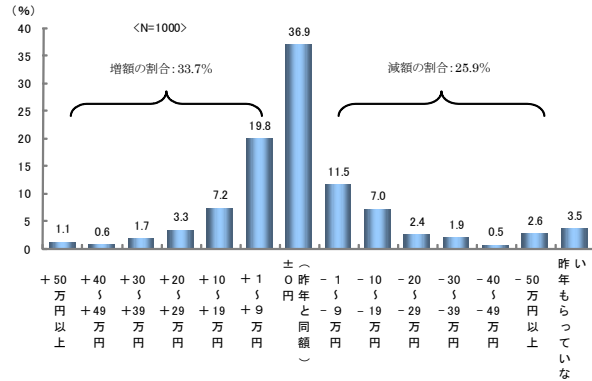
《 2011 年夏のボーナス 》

平均手取額は、昨夏から 0.6 万円増の 67.6 万円で 2009 年から 2 年連続の増加。
 ボーナス“増えた”は(40.8%→33.7%)で昨夏より 7.1%減。増減理由のトップは「会社の業績」。

2011 年夏のボーナス手取額



昨夏と比較したボーナス増減比較



サラリーマン世帯の主婦に夫が受け取ったボーナスの手取り額を聞きました。平均は 67.6 万円となっており、昨夏から 0.6 万円アップし、2 年連続増加する結果となりました。

次に、昨年の夏のボーナスに対する増減を聞いたところ、“増えた”(40.8%→33.7%)が減少し、“減った”(28.4%→25.9%)となっています。

“増えた”、“減った”理由として約 3 人に 1 人が「会社の業績」をあげています。また、“減った”理由の 3 位には「震災の影響」があげられ、夏のボーナスにも震災の影響が顕在化したようです。

“増えた”理由

順位	理由	%
1	会社の業績が良かったから	30.0
2	夫ががんばったから／成績が良かったから	19.6
3	昇進したから	14.2
4	基本給が上がったから	10.1
5	昨年が例年に比べて悪かったため	4.7
6	景気が回復したから	4.2
7	給与規程が変わったため／天引き分が減ったため	3.3
8	勤続年数が増えたため	2.7
9	年齢による昇給のため	2.1
10	震災の影響で仕事が増えたため	1.8

“減った”理由

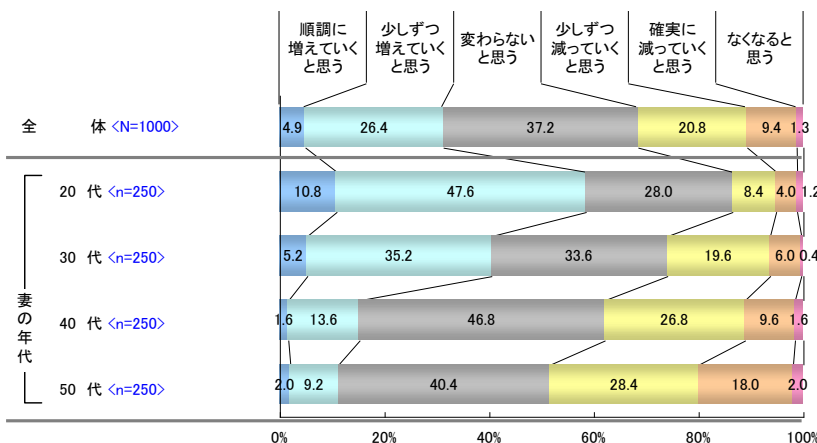
順位	理由	%
1	会社の業績が悪かったため	35.5
2	景気が悪いから	29.0
3	震災の影響のため	13.1
4	所得税が上がったから	4.6
5	夫の成績が良くなかったから	3.9
6	給与規程、雇用形態が変わったため	3.5
7	年齢が高くなったため	2.7
8	定年を迎えたため	2.3
9	退職したため	1.5

“昨年と同額”理由

順位	理由	%
1	特に何の変化もなかったため	4.6
2	景気が悪いから	4.1
3	会社の業績が良くないから	1.9
4	震災の影響	1.1

また、ボーナス手取り額の満足度を、大満足 100 点、どちらともいえないは 50 点、まったく不安は 0 点として採点してもらったところ、平均は「66 点」となりました。主婦は夫のボーナス手取り額に“まずまず”と感じているようです。

ボーナスの今後の見通し



さらに、今後の夫のボーナスの見通しを昨夏と比較したところ、「増えていくと思う」(37.0%→31.3%)になり、「減っていく・なくなると思う」(29.8%→31.5%)と、平均手取額が増加する一方で、悲観的な見方が増えているようです。また、年代が上がるにつれて悲観的な見方が増えていく傾向がうかがえます。

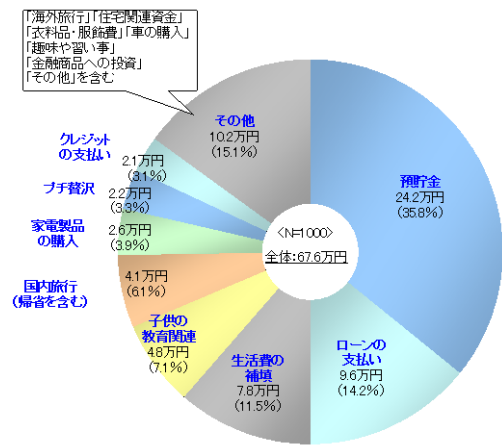
《 ボーナスの使い道 》

「預貯金」(68.7%)がトップだが、国内旅行が昨夏より増加傾向(25.8%→29.7%)。ボーナス総額に占める各用途別金額の内訳は、「預貯金」が(35.8%)と、3割を超える。

この夏のボーナスの主な使い道(複数回答)

順位		%
1	(1) 預貯金	68.7 (74.2)
2	(2) 生活費の補填	39.2 (39.6)
3	(3) ローンを支払い	33.0 (37.6)
4	(5) 国内旅行(帰省を含む)	29.7 (25.8)
5	(4) プチ贅沢	23.9 (28.4)
6	(8) 子供の教育関連	22.0 (17.8)
7	(6) 家電製品の購入	21.3 (19.4)
8	(7) 衣料品・服飾費	18.8 (18.6)
9	(9) クレジットの支払い	13.6 (11.0)
10	(11) 海外旅行	7.5 (5.0)

ボーナスの主な使い道が総額に占める割合
(この夏のボーナス平均手取額 67.6万円を総額とし、金額に換算)

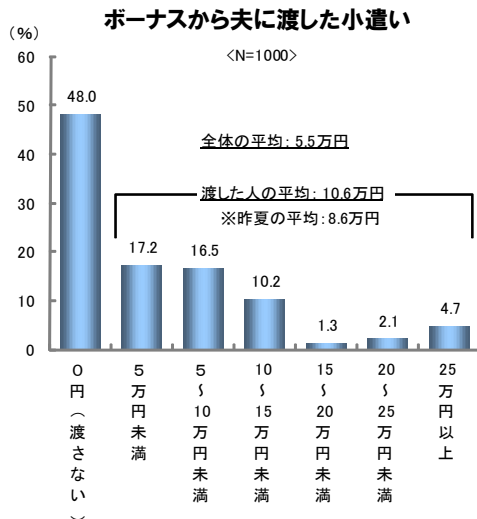


※()は2010年夏

ボーナスの使い道を聞いたところ、昨夏に比べトップの「預貯金」(74.2%→68.7%)は 5 ポイント以上減っています。一方で、「国内旅行(帰省を含む)」(25.8%→29.7%)や「海外旅行」(5.0%→7.5%)、「子供の教育関連」(17.8%→22.0%)、「家電製品の購入」(19.4%→21.3%)などは増加が見られました。この夏は、ボーナスを商品・サービスの消費(購入)にもまわそうとする傾向がみられました。

《 ボーナスから夫に渡した小遣い 》

「0円(渡さない)」が約半数(48.0%)。“渡した(渡そうと思っている)”人の平均金額は 10.6 万円と昨夏より 2.0 万円の増加。



<参考>

	夫への小遣い「0円」(渡さない)(%)	渡した人の平均額(万円)
全体	48.0	10.6
東日本	49.0	11.4
西日本	45.9	9.0

「0円(渡さない)」が半数近く(48.0%)を占めるものの、渡した人の平均金額は 10.6 万円と 3 年ぶりに 10 万円台に回復、昨夏からも 2.0 万円の増加となっています。小遣いを渡す世帯では小遣い額アップがあったようです。なお、居住地区別にみると上図のように《西日本》の方が「0円(渡さない)」が 45.9%と少ないため、額は控えめながら小遣いを渡す世帯が多い傾向がうかがえます。

《 臨時ボーナスをあげたい人とその金額 》

スポーツ界では「石川遼」(73 件)、芸能界では「AKB48」(41 件)、その他では「枝野幸男」(12 件)。
 渡してあげたいボーナス金額(平均)トップは、「サッカー日本代表」の 1 億 33 万円。

2011 年前半 臨時ボーナスをあげたいと思う人

芸能界			平均金額 (万円)		最高額 (万円)		スポーツ界			平均金額 (万円)		最高額 (万円)		その他			平均金額 (万円)		最高額 (万円)	
順位		件数					順位		件数					順位		件数				
1	AKB48	41	495	10,000	1	石川遼	73	840	10,000	1	枝野幸男	12	194	1,000						
2	江頭2:50	23	140	1,000	2	長友佑都	44	602	10,000	2	東日本大震災で被災された皆さま	11	1,244	10,000						
3	嵐	22	674	9,000	3	安藤美姫	16	247	2,000	3	菅直人	9	1,363	10,000						
4	芦田愛菜	13	38	150		イチロー	16	1,228	10,000	4	孫正義	8	4,867	10,000						
5	山本太郎	9	1,219	10,000	5	長谷部誠	13	262	1,000		福島第一原発の作業員の皆さま	8	1,738	10,000						

臨時ボーナスをあげたいと思う人(総合)

順位		得票数	順位		平均金額 (万円)
1	石川遼	73	1	サッカー日本代表	10,033
2	長友佑都	44	2	孫正義	4,867
3	AKB48	41	3	石原軍団	3,700
4	江頭2:50	23	4	自衛隊	2,687
5	嵐	22	5	福山雅治	1,750
6	安藤美姫	16	6	福島第一原発の作業員の皆さま	1,738
	イチロー	16	7	菅直人	1,363
8	芦田愛菜	13	8	東日本大震災で被災された皆さま	1,244
	長谷部誠	13	9	イチロー	1,228
10	枝野幸男	12	10	山本太郎	1,219
	浅田真央	12			

2011 年前半に活躍した人やグループで臨時ボーナスをあげたいと思う人を、分野別に自由にあげてもらいました。総合でトップの「石川遼」(73 票)は 2010 年夏、2010 年冬と連続して 1 位となっており、主婦からの根強い支持がうかがえます。
 得票数、あげたい金額ランキングどちらとも、東日本大震災による復興支援を表明した方が多くランクインする結果となりました。

《 主婦が詠むボーナス川柳 》

「クールビズ ボーナスまでも 薄くする」「ボーナスを たくさん使って 復興へ」など様々。「ボーナスが ないと思えば 得てうれし」など、「ボーナスが出ただけマシ」(73 件)という内容が昨夏と比較して増加。

主婦が詠むボーナス川柳

<p>【家計のやりくりの大変さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入っても あっという間に とんでいく ボーナスは 子供の塾の 肥やかな ボーナスで マイナス分を とりかえす ボーナスは 一時停止 急発進 <p>【ボーナスが出ただけマシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナスが もらえるだけでも ありがたい ボーナスは ないと思えば 得てうれし <p>【ボーナスが出たことへの感謝】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナスで つなぐ家族の 笑顔かな ありがとう 大きな車に なりました 変わらない それが一番 幸せです ボーナスが あるだけ感謝の 再就職 <p>【ボーナスの額を見てガッカリした気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナスが 減って夫婦の 会話減る 税金で がっくり手取り 予想外 	<p>【世相を反映】(東日本大震災関連など)</p> <ul style="list-style-type: none"> クールビズ ボーナスまでも 薄くする ボーナスも 電気と一緒に 節約だ 経済に 貢献するぞと 無駄遣い ボーナスを たくさん使って 復興へ 震災で 普通が感謝の ボーナスに 震災を 乗り越え家族の 支え金 <p>【使い道は旅行や食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナスで ストレス癒す プチ贅沢 ボーナスが 出たと喜び 回転すし 夏の旅行 グレード決まる ボーナス日 <p>【夫への感謝の気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナス日 おかず増やして 夫待つ ボーナスは 努力の結晶 ありがとう ボーナス日 この日だけは 惚れ直す <p>【使い道は貯蓄が最優先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナスは 今後のためよと 銀行へ ありがとう ボーナス全部 貯めてます <p>【今後のボーナスが不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーナスが 出たのに 次の心配し 来年は 支給されるか どうなるか？
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

川柳に詠まれた主な内容

順位		件数
1	(1) 家計のやりくりの大変さ	155 (123)
2	(5) ボーナスが出ただけマシ	73 (23)
3	(2) ボーナスが出たことへの感謝	55 (35)
4	(3) ボーナス額を見てガッカリした気持ち	54 (29)
5	- 世相を反映(東日本大震災関連を含む)	49 -
6	(8) 使い道は旅行や食事	38 (17)
7	(7) 夫への感謝の気持ち	31 (18)
	(4) 使い道は貯蓄が最優先	31 (25)
9	(6) 今後のボーナスが不安	16 (20)

※()は2010年夏

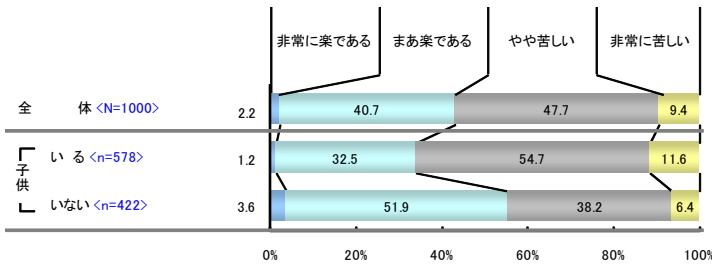
川柳に詠まれた主な内容では、「ボーナスが出ただけマシ」(73 件)は昨年の 5 位から 2 位となり、「使い道は貯蓄が最優先」(4 位→7 位)になるなど、ボーナスに対する心理的な変遷が見て取れます。

《 家計の現状と今後の見通し 》

現状“苦しい”(57.1%)。今後の見通しも“厳しくなる”(49.4%) (昨夏 8.6 ポイント増加)で悲観ムード強まる。

※“苦しい”は、「やや苦しい」「非常に苦しい」の合計。

家計の現状



家計をやりくりしている主婦に、現在の家計について楽か苦しいかを聞いたところ、“苦しい”が半数以上(57.1%)を占め、“楽である”(42.9%)を15ポイント近く上回っています。

独立していない子供の有無別で見ると、「いない」は、“苦しい”が44.6%の一方で、「いる」は、66.3%が“苦しい”と回答する結果となりました。

“苦しい”と思う理由には、「子供の教育費がかかる

ため」(137件)が最も多くあげられ、教育費の負担が家計におけるウェイトが高いことがうかがえます。一方、“楽である”は、「毎月貯金ができている」(50件)が2位にあげられ、貯金の有無が現状のバロメーターになっているようです。

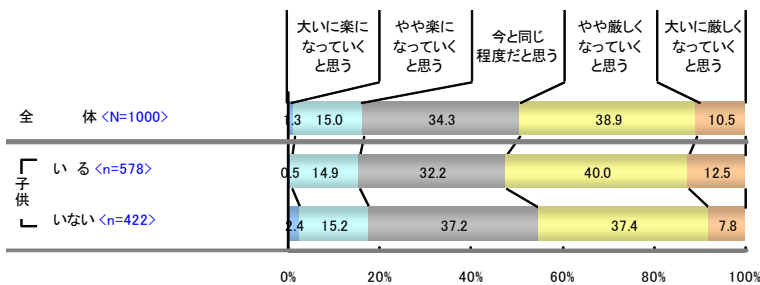
家計の現状(“楽である”と思う理由)

順位	理由	件数	扶養中の子供	
			いる	いない
1	苦勞して生活していないから/余裕があるから	72	34	38
2	毎月貯金できているので/蓄えがあるから	50	32	18
3	夫・自分の収入が良いので	43	20	23
	節約しているから/あまり贅沢をしないから	43	19	24
5	共働きだから	37	12	25
6	子供がいないから/夫婦二人だけなので	32	2	30
7	子供が独立したので	25	8	17
8	各種ローンがないから・終わったから	19	13	6
9	たまたま贅沢や無駄遣いができるから	16	6	10
10	家族が食べていけるから/人並みな暮らしができていけるから	15	8	7

家計の現状(“苦しい”と思う理由)

順位	理由	件数	扶養中の子供	
			いる	いない
1	子供の教育費がかかるため	137	125	12
2	給料が減ったため・少ないため	117	71	46
3	ローンがあるので/家・車などを購入したため	71	47	24
4	共働きでないから/仕事を辞めたから	41	25	16
5	貯金がないため・できないため	25	16	9
6	節約しないと生活できないので	24	15	9
7	子供が生まれたから/家族が増えたから	23	14	9
8	不景気だから	22	14	8
9	ボーナスが減ったから・ないから	16	11	5
	震災の影響が大きいから	16	10	6

家計の見通し



次に今後の家計の見通しを聞いたところ、“楽になっていく”(16.3%)と前向きにとらえている人は1割台にとどまり、“厳しくなっていく”(49.4%)と考えている人が5割近くを占めています。

独立していない子供の有無別で見ると、「いる」の方が“厳しくなっていく”(52.5%)の割合が高くなっています。

さらに、家計の見通しが厳しくなっていくと思う理由を聞いたところ、家計の現状と同様「子供の教育費が増えるため」(184件)が最も多く、2位の「給料が減った」とあわせて、主婦の頭を悩ませているようです。

家計の見通し(“楽になっていく”と思う理由)

順位	理由	件数	扶養中の子供	
			いる	いない
1	子供が独立して教育費が軽くなるので	38	30	8
2	収入が増える見込みがあるから	36	13	23
3	共働きになるから	26	17	9
4	ローンが減っていくため・終わるため	11	6	5
5	節約して貯金をしているから	9	2	7
6	夫が転職したので/家業を継いだので	6	3	3
7	今が一番苦しいと思うので	4	1	3
	景気が回復すると思うので	4	2	2
9	家が賃貸でなくなったので	3	1	2
	年金の受給が始まるので	3	3	0

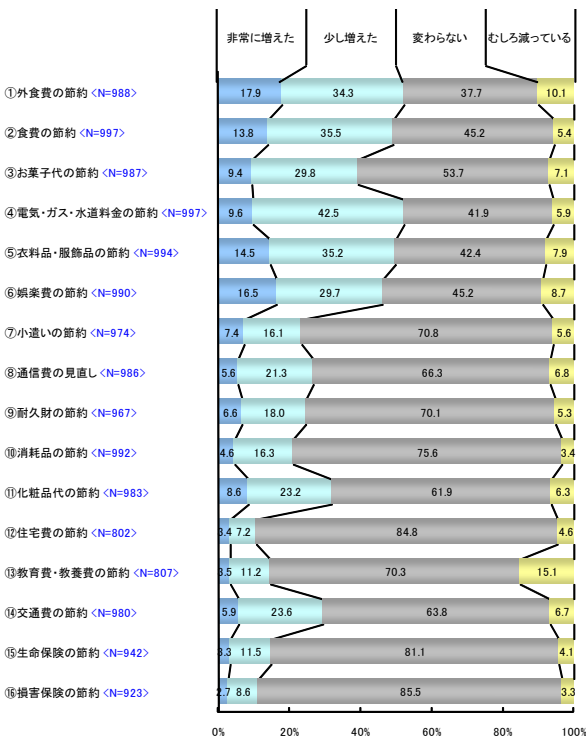
家計の見通し(“厳しくなっていく”と思う理由)

順位	理由	件数	扶養中の子供	
			いる	いない
1	子供の教育費が増えるため	184	171	13
2	収入が増えないので/給料が減ったので	70	44	26
3	子供が生まれたから/出産予定があるから	68	23	45
4	定年が近いから	38	15	23
5	不景気だから	36	15	21
6	家や車を購入するから/ローンが残っているから	22	13	9
7	震災の影響が大きいから	17	7	10
	税金が上がるから/控除・減税がなくなるから	17	7	10
9	先行きが全く見えないので/不安だから	12	6	6
10	会社の経営が低迷しているから	11	0	11

《 家計防衛のための節約行動の増減 》

以前に比べ節約する機会が“増えた”項目トップ3は、「外食費の節約」(52.2%)、「電気・ガス・水道料金の節約」(52.1%)、「衣料品・服飾品の節約」(49.7%)。
一方、節約する機会が「むしろ減った」項目は、「教育費・教養費の節約」(15.1%)。

節約する機会は以前に比べ増えているか



<今夏の節約項目トップ7>			<東日本の節約項目トップ7>			<西日本の節約項目トップ7>		
順位		%	順位		%	順位		%
1	(2) 外食費	52.2 (50.6)	1	電気・ガス・水道	55.0	1	食費	53.5
2	(6) 電気・ガス・水道	52.1 (30.7)	2	外食費	52.7	2	外食費	51.4
3	(3) 衣服費	49.7 (49.8)	3	衣服費	49.4	3	衣服費	50.3
4	(1) 食費	49.3 (54.2)	4	食費	47.3	4	電気・ガス・水道	48.4
5	(4) 娯楽費	46.2 (44.2)	5	娯楽費	46.5	5	娯楽費	45.4
6	(5) お菓子代	39.2 (42.3)	6	お菓子代	39.2	6	お菓子代	39.1
7	(7) 化粧品	31.8 (29.5)	7	交通費	30.7	7	化粧品	34.4

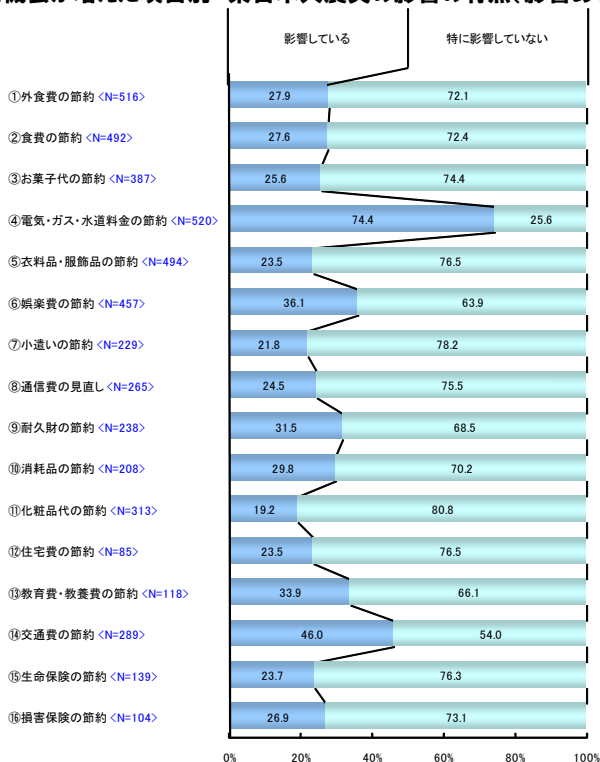
※()は2010年夏

昨夏のランキングから「電気・ガス・水道」が6位から2位に大幅にランクアップする結果となりました。
とくに、居住地区別で見ると、《東日本》は「電気・ガス・水道」(55.0%)が1位になるなど、“節電協力を通じた節約”という家計術がうかがえます。

《 東日本大震災の影響による節約 》

以前に比べ節約する機会が“増えた”回答の中で“東日本大震災が影響している”項目は、「電気・ガス・水道料金の節約」(74.4%)、「交通費の節約」(46.0%)、「娯楽費の節約」(36.1%)など。

節約機会が増えた項目別 東日本大震災の影響の有無(影響ありの場合)

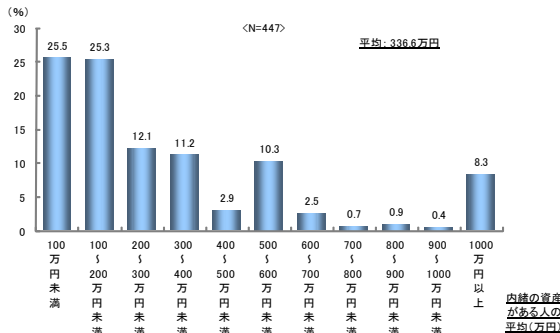


さらに以前に比べ節約する機会が“増えた”項目について、東日本大震災の影響(震災後の社会情勢や雰囲気なども含む)があったどうかを聞いたところ、“影響している”項目は「電気・ガス・水道料金の節約」(74.4%)が7割強と突出する結果となりました。
その他のほぼすべての節約項目で3割弱に震災が“影響している”との回答があるなど、生活への余波は少なからずあるようです。

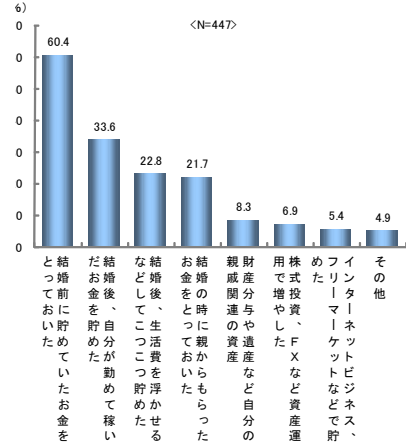
《 夫に内緒の資産(へそくり)に関して 》

44.7%が『夫に内緒の資産』(へそくり)を所持。へそくり平均額は 336.6 万円で、最高金額は 5,500 万円。
今年に入ってからの増減は、「減った」(29.5%)が「増えた」(21.0%)を上回る。へそくりの今後の見通しは「増えていく」(37.1%)と、ボーナスの今後の見通し「増えていく」(31.3%)よりも楽観的。

夫に内緒の資産(へそくり)をいくらくらい持っているか



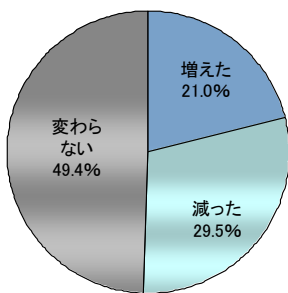
夫に内緒の資産を得た方法



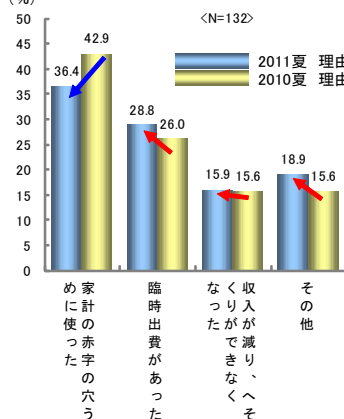
妻の年代	20代	30代	40代	50代	200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1000万円未満	1000万円以上	内緒の資産がある人の平均(万円)
20代 (n=104)	40.4	19.2	16.3	11.5	4.8	2.9	1.9	-	-	-	-	-	-	2.9	212.8
30代 (n=117)	26.5	32.5	9.4	6.8	3.4	14.5	-	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	4.3	238.1	
40代 (n=111)	20.7	23.4	14.4	10.8	1.8	9.0	4.5	0.9	1.8	-	-	-	12.6	441.8	
50代 (n=115)	15.7	25.2	8.7	15.7	1.7	13.9	3.5	0.9	0.9	0.9	0.9	13.0	449.4		

夫に内緒の資産(へそくり)平均額が昨夏より 27.9 万円減少し 336.6 万円という結果となりました。妻の年代別で見ると、《40代》を境にへそくり平均額が大きく上昇しています。

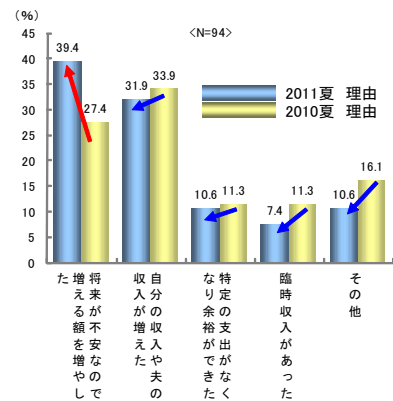
今年に入ってからのへそくりの増減



減った理由



増えた理由



夫に内緒の資産を持つ目的

順位	目的	件数
1	いざという時の備え	137
2	老後の備え	93
3	自分の趣味や買い物のための資金	42
4	子供の将来のための資金	32
5	家族が病気になった時の備え	20
	旅行の資金	20

今年に入ってからの夫に内緒の資産の増減は昨夏と比べ、「減った」(34.2%→29.5%)と若干減少していますが、「増えた」(27.6%→21.0%)も 6 ポイント以上減少しています。

「減った」最も大きな理由を見ると、「家計の赤字の穴うめに使った」(42.9%→36.4%)が昨夏に比べ 6.5 ポイント減少しています。

「増えた」理由には、「将来が不安なので蓄える額を増やした」(39.4%)がトップとなり、次いで「自分の収入や夫の収入が増えた」(31.9%)と昨夏から順位の逆転が見られました。

へそくりは、「継続して貯める」傾向が見られ、今後の見通しを聞いたところ、「少しずつ増えていくと思う」が 37.1%とボーナスや家計の見通しとは違い、前向きな様子が見えます。

増えていくと思う理由

変わらないと思う理由

減っていくと思う理由

順位	理由	件数
1	継続して貯めているため	33
2	働き始めたから/まだ働くつもりだから	12
3	増やしたいという気持ちがあるから	11
4	生活費などを節約しているから	6
5	投資などで増えそうだから	5

順位	理由	件数
1	増やす気がないから/手を付けなかつたから	19
2	自分が働いていないため	14
	特に使う予定がないから	14
4	増やす余裕はないから	12
5	今は夫に知らせているため	5

順位	理由	件数
1	使う機会が増えているから	11
2	生活費に充てているから	8
3	子供の教育費などに回すから	7
4	自分が仕事を辞めたから	6
5	これ以上増えることはないから	4

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『ボーナスと家計の実態調査』過去推移

年 (夏)	夏調査																臨時ボーナスを あげたい人 (最多回答)	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり		夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し					
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なく なると思う	変わらない	平均所 持率	持っている 人の平均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	67.1	23.4%	53.0%														主人	23票
2004	65.8	38.4%	27.6%	30.4%	32.6%	28.0%				4.0	17.6%						自分自身	68票
2005	76.2	43.2%	20.4%				43.6%	230.2	2,000 (3名)			46.4%	53.6%				サッカー日本代表	96票
2006	77.8	49.8%	17.4%				55.2%	313.2	3,000			45.8%	54.2%				荒川静香	68票
2007	77.9	49.2%	20.2%				45.2%	267.9	3,000	7.3	23.6%	49.2%	50.8%	19.8%	45.6%	34.6%	石川遼	58票
2008	75.3	37.0%	26.0%	30.8%	32.6%	36.6%	41.0%	356.3	4,000	12.3	41.6%	45.4%	54.6%	15.2%	46.4%	38.4%	エド・はるみ	38票
2009	65.5	20.6%	53.6%	25.6%	40.8%	33.6%	34.8%	337.2	4,000	9.8	48.0%	38.4%	61.6%	12.2%	50.0%	37.8%	イチロー	107票
2010	67.0	40.8%	28.4%	37.0%	29.8%	33.2%	45.0%	364.5	5,000	8.6	48.6%	44.2%	55.8%	15.6%	40.8%	43.6%	嵐	45票
2011	67.6	33.7%	25.9%	31.3%	31.5%	37.2%	44.7%	336.6	5,500	10.6	48.0%	42.9%	57.1%	16.3%	49.4%	34.3%	石川遼	73票

注①：03年冬のみ、夫の小遣いは「ボーナスの中で、自由に使える夫の小遣い」、その他の年は「ボーナスの中から夫に渡した小遣い」

年 (冬)	冬調査																臨時ボーナスを あげたい人 (最多回答)	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり		夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し					
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なく なると思う	変わらない	平均所 持率	持っている 人の平均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	66.9	24.2%	53.0%	28.4%	39.4%	22.4%				5.3	19.0%	8.4%	50.8%				松井秀喜	76票
2004	68.8	37.6%	30.8%									15.4%	42.6%				イチロー	58票
2005	69.5	39.4%	26.0%				45.6%	241.3	2,000 (2名)			43.6%	56.4%				レーザーラモンHG	50票
2006	69.3	40.8%	21.6%				49.0%	306.3	3,500	8.8	27.6%	47.0%	53.0%				新庄剛志	49票
2007	66.6	36.8%	24.2%				43.0%	245.0	2,000	7.4	19.0%	43.2%	56.8%	16.2%	43.0%	40.8%	小島よしお	119票
2008	70.5	29.0%	34.6%	21.2%	49.6%	29.2%	42.0%	461.3	4,000 (2名)	11.1	37.4%	38.2%	61.8%	9.2%	59.8%	31.0%	石川遼	88票
2009	62.1	20.4%	53.8%	23.4%	41.0%	35.6%	46.8%	374.3	1億	7.3	47.4%	36.8%	63.2%	11.4%	46.0%	42.6%	石川遼	92票
2010	62.1	33.8%	31.4%	29.6%	33.8%	36.6%	43.4%	308.3	3,500	6.9	42.0%	39.0%	61.0%	13.0%	44.0%	43.0%	石川遼	55票

注②：家計の苦しさに関する質問は05年冬より「変わらない」は削除。「変わらない」03年(40.8%)、04年(42.0%)

年	夏調査										金額 換算	金額 換算
	主な使い道											
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算
2003	生活費の補填	51.2%		預貯金など貯蓄	47.0%		ローン・クレジットの支払い	41.2%		国内旅行	28.8%	
2004	預貯金など貯蓄	56.2%		ローン・クレジットの支払い	38.6%		生活費の補填	37.8%		国内旅行	22.0%	
2005	預貯金など貯蓄	53.6%		ローン・クレジットの支払い	37.0%		生活費の補填	31.4%		国内旅行	29.6%	
2006	預貯金など貯蓄	55.2%		ローン・クレジットの支払い	35.8%		生活費の補填	33.4%		国内旅行・帰省	28.0%	
2007	預貯金など貯蓄	58.6%		ローン・クレジットの支払い	37.8%		生活費の補填	33.0%		国内旅行・帰省	30.4%	
2008	預貯金など貯蓄	55.8%		生活費の補填	36.4%		ローン・クレジットの支払い	33.2%		子供の教育関連	25.0%	
2009	預貯金など貯蓄	51.6%		生活費の補填	35.4%		ローン・クレジットの支払い	31.2%		国内旅行・帰省	22.2%	
2010	預貯金など貯蓄	74.2%	26.7万円	生活費の補填	39.6%	7.5万円	ローンの支払い	37.6%	11.2万円	プチ贅沢	28.4%	2.3万円
2011	預貯金など貯蓄	68.7%	24.2万円	生活費の補填	39.2%	7.8万円	ローンの支払い	33.0%	9.6万円	国内旅行・帰省	29.7%	4.1万円

注③：主な使い道に関する質問は10年夏より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

年	冬調査										金額 換算	金額 換算
	主な使い道											
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算
2003												
2004	預貯金など貯蓄	53.4%		生活費の補填	40.8%		ローン・クレジットの支払い	39.8%		国内旅行・帰省	23.8%	
2005	預貯金など貯蓄	55.2%		生活費の補填	34.6%		ローン・クレジットの支払い	33.0%		国内旅行・帰省	25.8%	
2006	預貯金など貯蓄	54.8%		ローン・クレジットの支払い	34.8%		生活費の補填	30.8%		衣料品・服飾費	22.0%	
2007	預貯金など貯蓄	60.6%		ローン・クレジットの支払い	32.2%		生活費の補填	30.6%		衣料品・服飾費	23.6%	
2008	預貯金など貯蓄	64.2%		生活費の補填	37.4%		ローン・クレジットの支払い	36.0%		家電製品の購入	19.6%	
2009	預貯金など貯蓄	68.0%	23.6万円	生活費の補填	47.2%	8.1万円	ローンの支払い	33.8%	9.3万円	国内旅行・帰省	21.4%	2.5万円
2010	預貯金など貯蓄	70.6%	22.4万円	生活費の補填	43.6%	8.1万円	ローンの支払い	32.2%	8.7万円	プチ贅沢	25.4%	1.9万円

注③：主な使い道に関する質問は09年冬より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『ボーナスと家計の実態調査』(2011年夏 居住区域別)

	夏調査																臨時ボーナスを あげたい人 (最多回答)	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し				
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なく なると思う	変わらない	平均所 持率	持ってい る人の平 均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
東日本	69.0	32.3%	26.3%	31.1%	31.1%	37.8%	44.5%	339.2	5,000	11.4	49.0%	42.8%	57.2%	15.2%	50.8%	33.9%	石川遼	52票
西日本	64.7	36.6%	25.1%	31.7%	32.3%	36.0%	45.0%	331.6	5,500	9.0	45.9%	43.2%	56.8%	18.4%	46.5%	35.0%	石川遼	21票

	夏調査									
	主な使い道									
	1位	金額 換算	2位	金額 換算	3位	金額 換算	4位	金額 換算		
東日本	預貯金など貯蓄	68.6%	生活費の補填	40.1%	ローンの支払い	32.9%	国内旅行・帰省	30.5%		
西日本	預貯金など貯蓄	68.9%	生活費の補填	37.5%	ローンの支払い	33.2%	国内旅行・帰省	28.1%		

※東日本は北海道、東北、関東、甲信越及び静岡。
 ※西日本は愛知、岐阜、近畿(三重を含む)、北陸、中国、四国、九州及び沖縄。

DIY生命の「4つの約束」

わたしたち損保ジャパンDIY生命は1999年の創業以来、「1年組み立て保険」という独自の商品販売を通じて、“自分の保険は、自分でつくる”、“生命保険は、ライフステージの変化に合わせて見直す”、“生命保険で、貯蓄はしない”というメッセージを発信し続けています。これらは、お客さまに「真にムダのない、合理的な保険をご提供する」というメッセージであり、次に掲げる当社の「4つの約束」に基づいています。

- ◆お客さまにぴったりあった商品の提供
- ◆お客さま自らの判断でご加入いただくこと
- ◆迅速なサービスの提供
- ◆お客さまとの継続的な関係の構築

わたしたちは、損害保険ジャパングループの「ダイレクト販売専門生命保険会社」として、また「常に先進的な取り組みを目指す会社」として、これからも「4つの約束」のもと、質の高いサービスと安心を提供してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社
 広報室：杉山、高月 TEL:03-5437-9026